山形放送株式

大木瞳美

どんな印象の町でしょうか。 佐藤市長にとって、 白鷹町は

な町です。 て紅花という感じで私は非常に好き ほども申し上げましたが、イメージ くある町というイメージですね。先 佐藤(孝) コンパクトであって、 でいえば、そばと鮎とサクラ、そし つ自然の生み出す質の高いものが多 か

ましたが、やはり文化の変化もあっ 染色といったいろんな技術が向上し ため、その後の波及として機織りや くなってきました。その背景がある 養蚕に支えられてどんどん町が大き やるくらい養蚕農家が非常に多く、 の産業の基礎をなしたものが実は ました、鮎やそばもですが、 佐藤(誠) 養蚕」です。どこの家でも養蚕を 佐藤市長からお話があり 白鷹町

> ので、 で紅花を使わせていただきたいとも き、そしてさらには染色ということ 養蚕という文化を起こさせていただ それらも使いながらもう一度 される時代になっております た付加価値の高いものが評価 変なのですが、今はそういっ ます。非常に糸を紡ぐのが大 す。さらに、高価なものとし 張らせていただいておりま 形で出展させていただき、 は「白鷹御召」をいろいろな あります。「白鷹紬」あるい れでもまだ残っているものも て衰退してしまいました。そ て「天蚕」というものもあり

考えております。

そして、 SHIRATAKA RED 日本の紅をつくる町 色を使用した新ブランド

司会 るとお聞きしました。 してブランド化し、PRしておられ (あか)」を「SHIRATAKA RED」と 白鷹町では新たに、町内の「紅

町が先駆者として紅花栽培をやって の形でお示ししたく「「日本の紅(あ 量が日本一の町ということを何らか こられたのですが、やはり紅花生産 たときに、もちろん高瀬地区や河北 佐藤(誠) 白鷹の特徴は何かを考え

山形市長

佐藤孝弘

氏

の他にも白鷹町はミニトマトの生産 まいりました。そしてさらに、紅花 をつくる町」として売り込んで

RED」というブランドを の「紅(あか)」を集め いものですから、それら 量も相当多く、これも赤 ないと考えております。 持って行かなければなら ら雇用というところまで 本に据えていき、産業か これらをまちづくりの基 立ち上げました。今後は て、新たに「SHIRATAKA

うですね。 敵なCMもつくられたよ 司会 白鷹町ではその紅 (あか)をテーマに、素

> ぱいの笑顔であることが高い評価を とと、地元の方が出演し、画面いっ た(笑)。音楽が耳に残るというこ 秀賞を受賞するとは思いませんでし 演していただきましたが、まさか優 いただきました。

ももは春から真っ赤な葉がつきまし とは「あかすももわいん」。あかす がする珍しいリンゴもあります。あ と言う、パイナップルのような香り していますが、「高徳(こうとく)」 みじ鮎」と呼んでいます。それから のところに赤い筋が入るときで、秋 なぜ鮎が?と感じられると思います にしかこのようにならないので「も 「ミニトマト」と、それから「鮎」。 「リンゴ」はさまざまな品種を生産 CMの中にもありましたとおり、 7月の20日前後に収穫をし、ワ 実は鮎が一番おいしいのはお腹

↑白鷹町の新ブランド **SHIRATAKA** のロゴマーク RED_

あたっては地元の方に出 佐藤(誠) はい。制作に